

2026年度	科目名	教育社会学特論
	英語名	Advanced Seminar on Sociology of Education
	科目属性	専門科目A群
	担当教員	古壕 典洋
	単位数	2単位(SC 0.5単位)

【授業の目的・ねらい】

- 1 社会学の基本的な概念についての理解を深める。
- 2 社会学の基本的な概念を使って、学校教育の実態を理解する。
- 3 社会学の基本的な概念を使って、地域社会の人間形成力について理解する。
- 4 社会学の基本的な概念を使って、家庭における教育を理解する。
- 5 1～4の理解に基づいて、学校、地域、家庭における教育の在り方について考える。

【授業計画】

本講座では、学校、地域、家庭などにおける教育現象を社会学的な概念(例えば「社会化」)で論じる。その場合、現象を実証的・客観的にとらえるだけでなく、教育にかかわるさまざまな主体(教師、親、子どもなど)の主観をも重視するためのさまざまな方法論について論考する。そしてそのような捉えにしたがって、教育のあるべき姿について考究する。

第1回 教育社会学としての教育の捉え方

第2回 人間の発達と教育

第3回 学校の役割と機能

第4回 教育と行政

第5回 職業と教育

第6回 家族と教育

第7回 地域社会と教育

第8回 教育内容と教育

第9回 学校組織の潜在的機能

第10回 脱学校社会論

第11回 学校文化

第12回 余暇社会と教育

第13回 国際化社会と教育

第14回 学習社会と教育

第15回 研究の方法

【評価方法】

「スクーリング評価」(25%)、「レポート評価」(25%)、「科目修得試験」(50%)の割合で総合して評価

【教科書】

1. 稲垣恭子『教育文化の社会学』放送大学教育振興会、2017 ISBN:978-4595140853

【参考図書】

1. 石戸教嗣編『新版 教育社会学を学ぶ人のために』世界思想社、2013